

Studio → Q

スタジオ・キュー



●主な記事●

- ・JIS 改正対応情報 (1-3面)
納入書・単位量
- ・よくある問合せ (4面)
- ・我が社の営業マン (5面)
- ・ユーザーHP (6面)
- ・Windows 7登場
- ・お知らせ

◆発行◆ 住友セメントシステム開発株式会社



PC アプリケーション事業部

URL: <http://www.sumitem.co.jp>

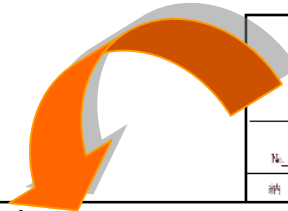
ユーザーHPアドレス

URL: <https://user.sumitem.co.jp/supernet/top.aspx>

2009年 夏号 (年4回発行・通算63号)

JIS 改正対応情報

今回のJIS A 5308の改正により、平成22年4月1日からレディーミクストコンクリート納入書に「配合表」欄が設けられ、単位量を記載するようになります。



レディーミクストコンクリート納入書

平成 年 月 日

殿

システム衛生コン工場
東京都江東区旗江2-19-3
電話03(5660)8951番機

No. _____

納入場所

今号では、変更内容の要点を確認するとともに、当社の変更状況を取りまとめご紹介いたします。

右が新しい納入書の例です。
用紙の大きさは、日本工業規格
A列5番(148mm×210mm)又は
B列5番(182mm×257mm)とする
のがぞまいと表記されています。

レディーミクストコンクリート納入書

No. _____

平成 年 月 日

殿

製造会社・工場名

納入場所		発着時刻		累計	
運搬車番号		発着時刻		累計	
呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ又はスランプフロー cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号
配合表 kg/					
セメント	混和材	水	細骨材 ①	細骨材 ②	細骨材 ③
			粗骨材 ①	粗骨材 ②	粗骨材 ③
				混和剤 ①	混和剤 ②
水セメント比	%	水結合材比	%	細骨材率	%
				スラッジ固形分率	%
備考 配合の種類別: <input type="checkbox"/> 標準配合 <input type="checkbox"/> 修正標準配合 <input type="checkbox"/> 計量読取記録から算出した単位量 <input type="checkbox"/> 計量印字記録から算出した単位量 <input type="checkbox"/> 計量印字記録から自動算出した単位量					
荷受職員認印			出荷係認印		

単位量出力の対応について

システムでは下記の単位量出力全てに対応可能です。

- ① 標準配合
- ② 修正標準配合
- ③ 計量読取記録から算出した単位量
- ④ 計量印字記録から算出した単位量
- ⑤ 計量印字記録から自動算出した単位量

①、②の出力については、PS-S（出荷管理システム）内に納入書表示用の設定値テーブルを用意していますので、その値を出力します。設定値テーブルの登録は、XL-Qからの配合転送機能で簡単にできます。また、この設定値テーブルは品質管理システムで配合計画書を作成する際にも選択する事ができます。

出荷設定値画面

商品CD	呼び方	セメント	混材1	混材2	水	細骨1	細骨2	細骨3	粗骨1	粗骨2	粗骨3	粗骨4	混和剤
1	○ 普通 - 18 - 8 - 20 - N	276			174	849			956				2.76
2	○ 普通 - 18 - 10 - 20 - N	279			176	841			956				2.79
3	○ 普通 - 18 - 12 - 20 - N	284			179	828			956				2.84
4	○ 普通 - 18 - 15 - 20 - N	294			185	864			896				2.94
5	○ 普通 - 18 - 18 - 20 - N	302			190	890			849				3.02
6	○ 普通 - 21 - 8 - 20 - N	298			174	818			969				2.98
7	○ 普通 - 21 - 10 - 20 - N	302			176	808			969				3.02
8	○ 普通 - 21 - 12 - 20 - N	307			179	797			969				3.07
9	○ 普通 - 21 - 15 - 20 - N	317			185	833			909				3.17
10	○ 普通 - 21 - 18 - 20 - N	326			190	869			852				3.26
11	○ 普通 - 21 - 21 - 20 - N	345			201	875			802				3.45
12	○ 普通 - 24 - 8 - 20 - N	320			174	787			982				3.20
13	○ 普通 - 24 - 10 - 20 - N	324			176	777			982				3.24
14	○ 普通 - 24 - 12 - 20 - N	330			179	766			982				3.30

③、④の出力については、PS-S（出荷管理システム）に単位量入力画面を用意していますので、単位量を登録することができます。

（ 単位量入力イメージ：右図
 Aは運搬車1台あたりの設定値の単位量
 Bは運搬車1台あたりの平均値で表す単位量 ）

⑤の出力については、計量制御盤から送られてくる単位量を出力するか、動荷重をもとにPS-S（出荷管理システム）で計算した単位量を出力するのを選択できます。ただし、後者の場合、計量制御盤の補正值や計算手順と同じようにならないこともあるため、実際の値と誤差が生じる可能性があります。

材料	単位量	A	B
セメント		268	268
混和材	①		
	②		
水		180	180
細骨材	①	884	884
	②		
	③		
粗骨材	①	956	956
	②		
	③		
	④		
混和剤	①	2.68	2.68
	②		
	③		

単度量計算表の出力

購入者からの要求があれば、バッチごとの計量記録及びこれから算出した単度量を提出しなければなりません。

また、複数バッチで運搬車1台分のコンクリートを練り混ぜる場合には、各バッチの計量値を平均して算出した単度量を提出することになります。

単度量の算出例

施工者：スミテム建設株式会社
現場：スミセ深川ビル改築工事 その1工事
配合：1818 呼び方：18-18-20-N

順序	セメント C	スラッグ 固形分	水 W	細骨材 S1	細骨材 S2	細骨材 S3	粗骨材 G1	粗骨材 G2	粗骨材 G3	粗骨材 G4	粗骨材 計	混和剤 AE1	混和剤 AE2	混和剤 AE3	混和剤 AD1	混和剤 AD2
① 配合計画値 (単位量)	331	182	191	335			775	192				3.45				
② 骨材の過大粒・過小粒による補正																
第1次補正量																
第2次補正量																
補正後単位量	331	182	191	335			775	192				3.45				
③ 骨材の表面水率 (%)																
1バッチ目				3.5	5.0		0.5	0.5								
2バッチ目				3.5	5.0		0.5	0.5								
3バッチ目				3.5	5.0		0.5	0.5								
1台分の平均値 (加重平均) %				3.5	5.0		0.5	0.5								
④ 表面水補正値 (kg)																
1バッチ目				-38.9	17.2	16.8			3.9	1.0						
2バッチ目				-38.9	17.2	16.8			3.9	1.0						
3バッチ目				-38.9	17.2	16.8			3.9	1.0						
⑤ 各バッチの設定値の単位量 (kg/m³)																
1バッチ目	331			143.1	508	352			779	192						
2バッチ目	331			143.1	508	352			779	192						
3バッチ目	331			143.1	508	352			779	192						
⑥ 運搬車1台あたりの設定値の単位量 (A)	331			143.1	508	352			260	779	192			972		3.45
⑦ 呼び固形分量による補正 (kg) 固形分率2.5%																
呼び固形分量による補正後																
計量値 (kg)																
1バッチ目																
2バッチ目																
3バッチ目																
容積保証係数																
1.015 (1台分の補正係数)																
⑧ 各バッチの計量値 (kg)																
1バッチ目	336			145.2	516	357			791	196						
2バッチ目	336			145.2	516	357			791	196						
3バッチ目	336			145.2	516	357			791	196						
⑨ 各バッチの計量値 (kg)																
1バッチ目	336			145.0	515	355			870	790	195					
2バッチ目	339			147.0	510	360			870	790	200					
3バッチ目	340			146.0	515	355			870	790	195					
⑩ 運搬車1台分の計量値の合計値	3,045	kg	1014	438.0	1540	1070			2610	2370	690					10.50
⑪ 容積保証・練混ぜ量の戻し	1.00	kg	333.0	143.8	505.7	351.4			857.1	778.3	193.8					3.448
⑫ 呼び固形分量の戻し	1.00	kg														
⑬ 運搬車1台あたりの平均値で表す単位量 (B)	333.0			143.8	505.7	351.4			857.1	778.3	193.8			972.1		3.448
⑭ 計量誤差		%	0.6		0.5				-0.3					0.0		-0.1
(B-A) / A × 100		%	1		1				3					3		3
⑮ 骨材の表面水補正量の戻し		kg		38.9	-17.2	-16.8			-3.9	-1.0						
修正後	331			182.7	522.9	368.2			857.1	782.2	194.8			972.1		3.448
⑯ 骨材の過大粒・過小粒の戻し		%														
第1次補正		kg														
第2次補正		kg														
⑰ 修正後の運搬車1台あたりの各材料の単位量	331			183	523	368			782	195						3.45
⑱ 計量記録より逆算した配合計画値 (単位量)																

出荷指示画面

出荷指示画面に伝票イメージを出すことにより、単度量を確認しやすくなっています。

Hyper PS-S

出荷No. 6
 車両番号 5 山田太郎
 出荷量 4.00 m³
 製造量 4.00 m³ 出荷完了
 発時刻
 納入条件 なし
 JIS あり なし
 累計出荷量 m³
 累計台数
 備考
 挿入位置 追加

レディーミクストコンクリート納品書
 平成21年 7月 17日

JIS
 スミテム建設 殿

納入場所 京王線桜上水駅改修工事
 運搬車番号 5 1台目
 納入時刻 発着
 納入容積 4.00 m³ 累計 4.00 m³

呼び方	コンクリート種類	強度	スラッグ	骨寸	セメント		
	普通	27	21	20	N		
配合表	C	AD1	AD2	W	S1	S2	S3
	326	-	-	190	869	-	-
	G1	G2	G3	G4	AE1	AE2	AE3
	852	-	-	-	3.26	-	-
	58.3	-	50.9	3	標準配合		

荷受職員認印 出荷係認印 鈴木 一郎

OK キャンセル

出荷管理システムのお問合せ、デモンストレーションのご依頼等は巻末の本社・支店・営業所にご連絡ください！

よくある問合せ

前回のスタジオQ春号（62号）では、先取り情報として、配合計画書への変更方法や指示配合テーブルを使用した修正標準配合での配合計画書の出し方などの情報をお伝えいたしました。

今回は、最近フリーダイヤルへの問い合わせが多いJIS改正関連の質問をご紹介します。

Q1. 指示配合テーブルの配合で、配合計画書を出したいのですが、指定事項で設定した混和剤（混和材）が出てこないのは何故ですか？

配合計算設定

材料丸め方法 | 計算値丸め方法 | 材料混合方法 | W/C書式 |

細骨材率s/a計算の丸め方法: JIS | 合成密度丸め方法: JIS

指示配合質量丸めの有無: 丸める

水量表の補間の丸め方法: JIS | 骨材表の補間の丸め方法: JIS | AE 剤表の補間の丸め方法: JIS

水量表の補正の丸め方法: JIS | 骨材表の補正の丸め方法: JIS | AE 剤表補正の丸め方法: JIS

配合記号の使用の有無: 使用する | 試験練り配合計算での指定事項混和剤・材の使用の有無: 使用する

JIS区分: JIS2009 | 呼び方欄ランブタイトル(JIS2003以降): スラフ又はスラフフロー

指示配合計算での指定事項混和剤・材の使用の有無: 使用する

OK | キャンセル

A. 初期メニューの「配合設計」にある「丸め混合方法などの登録」を起動します。「計算値丸め方法」というタブをクリックし、その中の「指示配合計算での指定事項混和剤・材の使用の有無」という項目を「使用する」に変更することで、指定事項での混和剤・材の計算が反映されるようになります。

Q2. 物件配合を登録する画面にある「報告書配合」右側の「名称」という項目は何ですか？

配合基本No. 1 | 呼び方: 規格品 | 普通 | 33 | 18 | 20 | N

報告書配合: 標準配合 | 名称: | 納入書配合: 標準配合 | 修正標準配合1

A. 配合計画書には“本配合の適用期間”の欄に標準配合、又は修正標準配合（季節の相違、運搬時間の相違、骨材品質の大幅な変動によって標準配合を修正したもの）の別を記載するようになっています。XL-Q のお客様の中には、修正標準配合にあたるものを別の配合基本データにして使っている方もいらっしゃいます。そうした場合、報告書配合は標準配合でも“本配合の適用期間”には「修正標準配合」と出力したいといったケースがあり、それに対応するのが、「名称」項目です。この「名称」に入力した文字列が“本配合の適用期間”にできるようになります。何も設定しない場合は、（標準配合）又は（修正標準配合）が自動で出力されるようになります。また「名称」項目にスペースを入力する事で「何も表示させない」という事も可能です。

我が社の営業マン

この度、新たに大阪販売チームに加わった営業マンをご紹介します。

氏名：山中 克茂 (やまなか かつしげ)
出身：大阪府
趣味：ラグビー観戦

大阪販売チーム最年少 27 歳とフレッシュな彼は、芸能人にたとえると「渡辺 いっけい」に似ています。前職は生コンとは全く無縁の業界で働いていましたが、コンピュータに興味を持ち、縁あって弊社に入社することになりました。

プロフィールにラグビー観戦が趣味と書いてありますが、実は彼はバリバリのラグーマンなのです。中学の時からラグビーを始め、高校時代には大阪府の代表として花園に出場、社会人になっても実業団でプレーしているので「超」がつくほどのラグーマンなのです。

そんな彼の座右の銘は「腰は低く、志は高く」ということもあり、ラグビー仕込みの低いタックルで、お客様の心に「ど〜ん」と飛び込んでいくことと思います。「コンクリート同様、お客様と固い絆を作りたい」と意気込んでいますので、温かく受け止めてあげてください。

また、一見すると「まじめ一筋」に見える彼ですが、ひとたびマイクを持たせると人が変わ

り、弊社の新人紹介の席でも 1 曲歌って場を盛り上げてしまうほど、サービス精神旺盛な人間なのです。現在は、納品を担当し、作業服を着て西へ東へと工場を訪問させて頂いていますので、そのサービス精神を活かして、近い将来「スミテム=山中」とお客様に思ってもらえるようになるかと思えます。

今はまだコンピュータや生コンの知識を身につけている段階ではありますが、訪問させて頂いた際には温かい目、あるいは厳しい目でご指導していただきますよう、宜しくお願いいたします。



スミテム生コンユーザーサイトに

新たなコンテンツが追加されました！

◆最新情報をお知らせします◆

JIS改正やプログラムの修正情報など最新情報をお知らせします。

◆ウィークリーピックアップ◆

いま最もホットな話題や、よくある質問などを毎週取り上げ解説していきます。

ユーザーHPアドレス <https://user.sumitem.co.jp/supernet/top.aspx>

※注意※ 当ページに初めてアクセスする際は、ユーザー登録が必要になりますので、2008年春号（通算58号）を参考に登録して下さい。

Windows7ついに登場

ウィンドウズを発売しているマイクロソフトは、パソコン用基本ソフト（OS）「ウィンドウズ7（セブン）」を米国と同じ10月22日に日本国内で発売すると発表しました。現行の「ビスタ」の後継OSで、パソコンのメモリ容量が比較的小さくても起動が速く、動作も軽くなるというのが特徴です。

価格は、全般に「ビスタ」より安く設定されている上、「ビスタ」や「XP」といった従来のウィンドウズユーザーが乗り換える場合には、更に安くなるようです。



夏期休業のお知らせ

2009年8月12日（水）～8月15日（土）

誠に申し訳ございませんが、上記期間は弊社夏期休業日となります。

つきましては、営業業務・経理業務およびフリーダイヤルといったサポート業務はお休みとなりますので、ご注意ください。

尚、上記期間以外は平常通りの営業となります。



住友セメントシステム開発株式会社

本社	●〒135-0003 東京都江東区猿江 2-16-5 スミセ深川ビル 7F	TEL (03) 5600-8955 FAX (03) 5600-8959
大阪支店	●〒541-0052 大阪市中央区安土町 3-2-14 サキビルディング 4F	TEL (06) 6271-7110 FAX (06) 6271-7122
札幌営業所	●〒060-0003 札幌市中央区北3条西 2-10-2 札幌HSビル 10F	TEL (011) 232-1748 FAX (011) 221-1017
福岡営業所	●〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-2-5 紙与博多ビル 8F	TEL (092) 476-3377 FAX (092) 476-3378
名古屋営業所	●〒450-0003 名古屋市中村区名駅南 2-14-19 住友生命ビル 3F	TEL (052) 566-2500 FAX (052) 566-3285